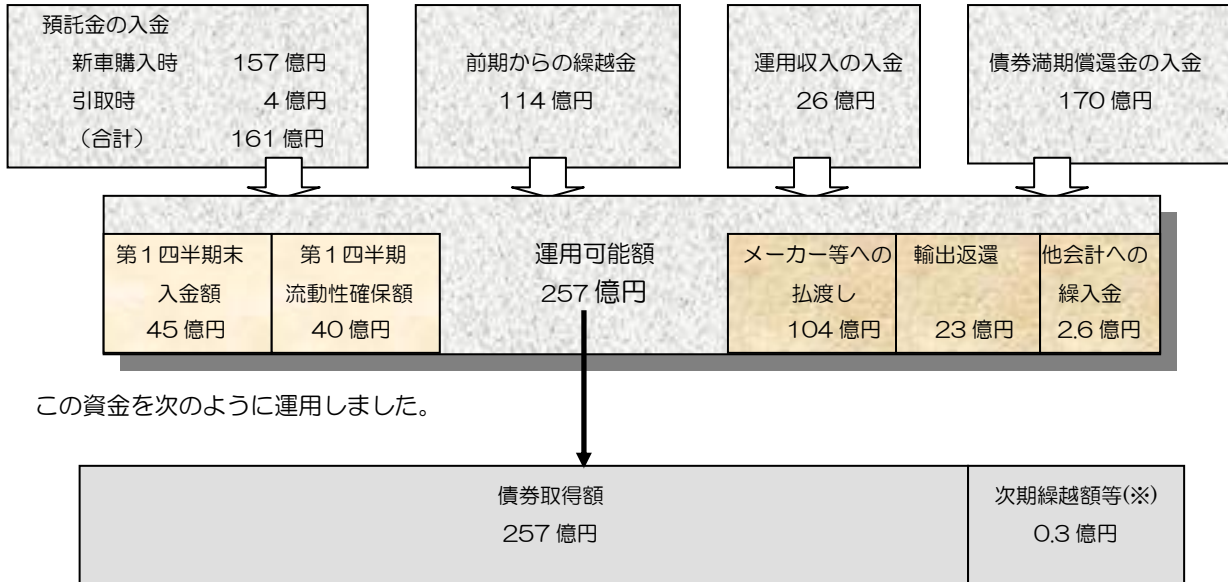


平成22年度第1四半期（平成22年4月～平成22年6月） 再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第38回（平成22年9月21日開催）資料4-1」をご参照ください。

- 平成22年度第1四半期（平成22年4月から平成22年6月末まで）に資金管理法人の口座に入金となった預託金額は161億円でした。これに前期からの繰越金114億円（前期末入金73億円、流動性確保額等42億円）、運用収入26億円及び債券満期償還金170億円を加え、メーカー等へ払渡した金額104億円、輸出返還の金額23億円、他会計への繰入金支出2.6億円（資金管理法における充当並びに指定再資源化機関及び情報管理センターへの出えん）、第1四半期末の入金45億円及び第1四半期流動性確保額40億円を差引いた257億円が運用可能な金額でした。



この資金を次のように運用しました。

(※) 次期繰越額等0.3億円。

次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。

支払経過利息とは、債券を購入するとき売りに支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

この結果、平成22年6月末の保有債券の残高・平成22年度における新規取得債券（平成22年4月から平成22年6月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

償還年度	年限	保有債券簿価残高	構成比
～平成23年度	1以下	1410億円	—
平成24年度	2	803億円	12.0%
平成25年度	3	802億円	12.0%
平成26年度	4	802億円	12.0%
平成27年度	5	802億円	12.0%
平成28年度	6	802億円	12.0%
平成29年度	7	802億円	12.0%
平成30年度	8	802億円	12.0%
平成31年度	9	802億円	12.0%
平成32年度	10	257億円	3.8%
合計		8,083億円	100.0%

債券種別	新規取得額	構成比	年度計画	計画比
国債	191億円	74.6%	74.6%	0.0%
政府保証債	24億円	9.5%	9.5%	0.0%
格付け制限あり債券	41億円	15.9%	15.9%	0.0%
合計	257億円	100.0%	100.0%	

- 第1四半期に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものになっています。

実績最終利回り (A)	評価指標利回り (B)	(A) - (B)
1.21%	1.19%	0.02%

※注 実績最終利回りは、第1四半期に取得した債券の加重平均利回りです。

- 保有債券全体の最終利回りの推移は次のようになっています。

平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年6月末
0.77%	0.90%	1.15%	1.24%	1.32%	1.37%	1.37%